

オーディオの総合誌 ステレオ

Stereo

2010
January

1



《特集》

発表!

これが2009年の No.1だ!!



I: 年間最優秀コンポ2009

II: 年間最“愛用”アクセサリ2009

mhi Evidence MM01A ¥84,000 pair

【プロフィール】 ビュアアルミ・リボントウイーターを搭載した小型2ウェイシステム。mhiはアメリカのカリフォルニア州に本拠を構える MICRO HOME INSTALLATION, INC社のブランド。ブランド名は「musical heart instruments」を表しているという。ユニット構成は広帯域110mm(4.5インチ)口径ウーファーとリボントウイーターの2ウェイ。特徴的なのはそのクロスオーバーポイント。通常の多くのシステムでは3kHz前後にそのポイントを持つてくることが多い。しかし、本機では音楽再生で最も重要な帯域にクロスオーバーポイントを設けることを避けている。ペーパーコーンの小口径ウーファーをフルレンジ的に使い、10kHzでトゥイーターとクロスさせボーカル帯域を1つのユニットに受け持たせることで音楽再現性の向上を図っている。また、高域端を120kHzまで伸張したビュアアルミ・リボントウイーターもよりクリアな高域再生が可能になっている。ネットワークは空芯コイルとフィルムコンデンサーで構成され、異種金属が介在するのを極力排除したカシメ処理を採用している。キャビネットはフロントバッフル18mm、側板12mmなど、板厚の異なる3種類のMDFを用いることで制振と響きの両立を図っている。また、ウーファーの振動がトゥイーターへ干渉するのを絶つための一筋の溝が両ユニット間に設けられている。表面仕上げも音質を配慮したウレタン塗装を採用。小型システムではあるがバイワイヤリングに対応した大型端子を装備している。

●遠藤

- 型式 2ウェイ2スピーカー・バスレフ型
- 使用ユニット [W]110mm [T]リボン
- 出力音圧レベル 90dB
- 最大入力 75W
- 再生周波数帯域 65Hz~120kHz
- インピーダンス 4Ω
- クロスオーバー周波数 10kHz
- 入力端子 バイワイヤリング、バナナプラグ対応
- 大きさ 152W×247H×231Dmm
- 重さ 4kg
- カラー ピアノブラック
- 問い合わせ先 サエコマース ☎03-3588-8481

【同価格帯のスピーカーシステム特選モデル】

L-lite(クオード)	¥68,250 pair	{06-05月号掲載}
iQ30(KEF)	¥69,300 pair	{09-01月号掲載}
R90-HD(モニターオーディオ)	¥69,300 pair	{08-11月号掲載}
SC-CX101(デノン)	¥73,500 pair	{06-08月号掲載}
S-A4SPT-PM(バイオニア)	¥39,900	{05-09月号掲載}
SC-T55SG(デノン)	¥46,200	{08-06月号掲載}
Wigo150(オーディオプロ)	¥92,400 pair	{09-07月号掲載}
S-A4SPT-VP(バイオニア)	¥48,000	{06-10月号掲載}
GX100(フォステクス)	¥49,875	{09-03月号掲載}

【mhi社のスピーカーシステム】

Evidence MM01A ¥84,000 pair
{stereo誌10-01月号掲載}

photo: K.Kazama



★★★ 貝山知弘

★★★ 神崎一雄

★★★ 斎藤宏嗣

★★★ 藤岡誠

mhiはミュージカル・ハート・インスツルメントの略。トゥイーターにピュアアルミリボン型のユニットを使用しているのが特徴のコンパクトサイズスピーカーだ。試聴ではフォステカのウッドスタンドSG600にセットした。アルミリボン型トゥイーターの特徴は繊細で緻密な高音に現れている。10kHz以下を再生する全音域ユニットは口径が4.5インチ。サイズからして豊かな低音は望めず中音から上のエネルギーが張り出すトータルバランスとなっている。良質のサブウーファーと組み合わせれば粹なシステムとなりうるが、単体ではBGM的な使用に限界だ。全音域ユニットの口径を大きくするか、低音再生能力を上げるかなど工夫が欲しい。

USAからの初登場ブランドによる堂中型とも呼びたいサイズのコンパクトなスピーカーシステム。大きな特徴は高域ユニットにリボン型を採用していることだが、価格を考えると驚異的と言っている。この価格でリボントゥイーターを入手することさえ難しいだろうからである。フルレンジ(+)スピーカートゥイーター的な構成の2ウェイで、能率は標準的か少し上回るといところ。本格的な低域再生は無い物ねだりになるが、軽量化しながらオーケストラの再現はますます。声の質感も悪くない。リボンの存在がやや強調気味だが、これはリズムの歯切れ良さには効果的でもある。ネットワークの部品の影響か、寝覚めはゆっくりめだが覚めた時のサウンドは結構魅力的。



トゥイーターとのクロスオーバーを10kHzとした4.5インチのペーパーコーンウーファー



ピュアアルミ製Trueリボントゥイーターは10kHz~120kHzまでを受け持つ

アメリカで創立されたmhi(ミュージカル・ハート・インスツルメント)のデビューモデルが、コンパクトなブックシェルフタイプスピーカーシステムEvidence M01Aである。バルブコーンによる4.5インチ(約110mm)口径ウーファー、ピュアアルミ材によるリボントゥイーターの2ウェイ方式でリアバスレフ型。クロスオーバー周波数は10kHzで、ウーファーはフルレンジに近い帯域をカバーしている。再生音は構成に対して十分に広く、低域方向も不自然な誇張は感じられず素直にレンジが伸びて、バスレフ方式というより密閉型のような歯切れと音階描写の確かなパターン。高域はリボンの細やかな粒立ちが特徴。

「片手サイズ」まで小さくはないがコンパクトな2ウェイ。最大の魅力はリボン型ユニット(バイオニア社製)の採用。このためクロスオーバー周波数が高く、内容は「フルレンジ(+)スピーカートゥイーター」的な構成である。音はリボン型ユニットの特徴・特質がかなり支配しており、コンパクト型の中では抜群の空間再現性を聴かせる。ストリングスは繊細で硬質感がなく倍音成分の質と量が良い。声の帯域はフルレンジユニットが担当しクロスオーバーポイントは含まれないが多少の個性が感じられる。使いこなしが勝負で、組み合わせやセッティングに充分留意すれば価格と寸法以上の音を楽しむことができる。コストパフォーマンスは高い。